

支援プログラム



事業所名

放課後等デイサービス 特定非営利活動法人シャイン

支援方針

福祉の増進と人権擁護などを目的に有志が集まった NPO 法人シャインです。つまり、「要望があればやってみよう」というのが基本スタイルです。

- ・本人らしくやりたい事 やってみたい事 頑張りたい事 をサポートします。
- ・できない事を応援するのではなくやってみたい気持ちを応援します。
- ・ご家族、関係者と連携しこどもの成長を見守り応援します。
- ・こどものうまく伝えられない感情の表出をサポートしていきます。

営業時間（送迎実施の有無）

- ・放課後支援（学校開放日） 13:00～18:00（有）
- ・長期休み（学校夏休み、冬休み、春休み） 12:00～18:00（有）
- ・土曜日 8:30～16:00（有）

本人支援の5領域（生活 感覚 行動 コミュニケーション 人間関係）

生活・健康

*基本的生活スキルの習得

自身の持ち物の管理や清潔の保持、整理整頓が出来るように支援します。

経験（調理、運動等）を通して楽しみに出来ることを増やします。

*生活習慣の形成

日々の活動をご本人の特性に配慮し提示し自発的に行動できるよう支援します。

運動・感覚

体育館での活動場所を確保し、ボール運動やダンスを通して身体能力向上を支援します。

野外活動を行い、散歩や遊具を使い移動動作や感覚への特性を確認しながら支援します。

認知・行動

本人の特性を知る為に、アセスメントを行い、強みや苦手とすることを評価します。

アセスメント結果に基づいて視覚的な支援（スケジュール、工程表等）を用いて活動を示します。

アセスメント結果に基づいて課題や作業の時間を決め行っていきます。

上記の内容を繰り返し行うことで自主的行動のできる部分を伸ばしていきます。

言語・コミュニケーション

*グループ療育支援

少人数での活動を行う中で、自分の気持ち（感情、やりたいことなど）を伝える場面を設定し表出できる機会を作ります。うまく伝えられなかった場合は、職員で話し合いを行いサポートの手立てを検討し表出できるようにしていきます。

*個に合わせたコミュニケーション支援

パクスの導入や指差しや身振りを交えた意思疎通支援を行います。認知行動で支援を行う前のアセスメント結果に基づき個に合わせた支援を検討し実施します。

人間関係・社会性

*集団形成

小集団での活動や行事への参加を行い、基本的な人との関わり、小集団で行う活動スキルを身につけていきます。

*経験

事業所外活動（公園、買い物、公共施設）等での活動を通して公共マナーを学ぶ機会を作りルールを学んでいきます。

家族支援

- ・年に1回、事業所イベントを行い、支援者と家族が接する機会を作り交流を行います。
- ・家族（きょうだい）からの相談に対する適切な助言を行い、また必要に応じて関係機関と連携しサポートしていきます。
- ・障がい特性に配慮した家庭環境の整備に対する助言等を行います。

移行支援

*保育園、幼稚園、放課後等デイサービス等から移行

卒園前、他事業所利用中に本人に関する情報を共有させていただきながらご本人が望むであろう支援準備を行います。

*学校卒業後への移行

成人事業所（生活介護、就労支援等）への体験サポートや情報提供等を行いながら移行が円滑に進むよう支援します。

地域支援・地域連携

- ・地域のスーパーやコンビニ等のお店を活用し体験の場を確保していきます。
- ・高校卒業時の選択が出来るよう成人施設、企業への見学等も要望に応じて実施していきます。
- ・医療、教育、その他の分野等と必要に応じて連携を図ります。

職員の質の向上

- ・定期的にご利用者さんの会議を実施します。
- ・年に1回以上事業所内研修会を開催し職員のスキルアップ向上を目指します。
- ・安全管理、虐待防止、身体拘束適正化、研修、衛生推進等の委員会と協力し研修会、啓発等行っています。

主な行事等

- ・業務に関わる職員は、年に1回以上研修に参加しサービスの質の向上を目指します。
- ・年に2回の避難訓練を実施します。
- ・年に1回法人のお祭り（家族参加、工作等展示等）を開催します。
- ・夏休みはプール外出支援、流しそうめん、バーベキュー等企画していきます。
- ・冬休みは餅つき、雪遊び等を企画していきます。
- ・春休みは、遠足、山登り等を企画していきます。
- ・その他、ご家族のご要望等を聴きながら企画していきます。

